

尾瀬西山スノーハイク 山行報告

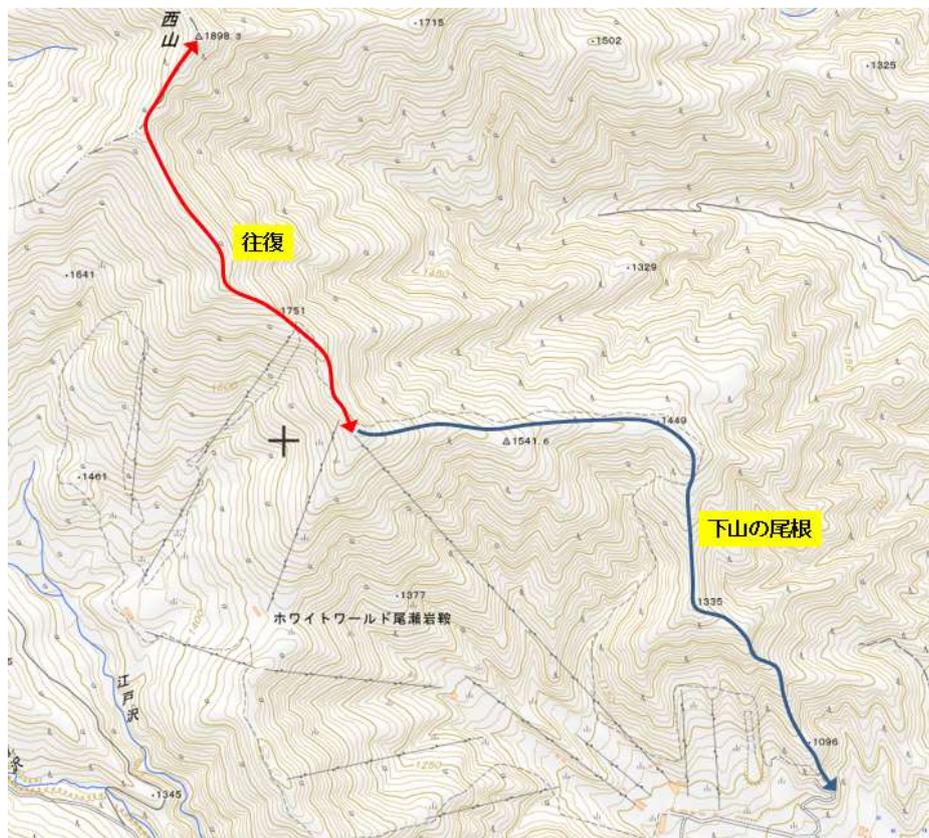
【山 域】 尾瀬

【ルート】 尾瀬岩鞍スキー場 Gondola トップ 10:30 → 11:50 西山 12:10 → スキー場 Gondola トップ 12:50
→ (東尾根～南尾根経由) 14:00 尾瀬岩鞍スキー場 駐車場

【登山方法】 雪山登山

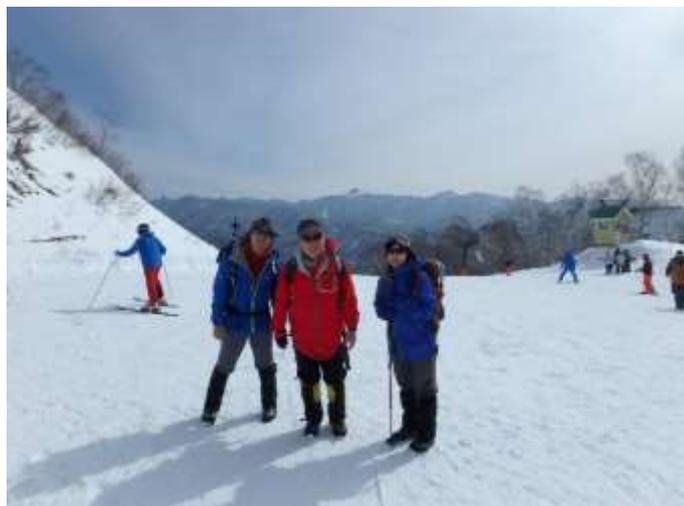
【日 程】 2020年3月7日(土) 天気 晴れ

【参加者】 CL 柘植(記録) 鈴木憲 澤田路 尾崎



【記録】

本来は裏那須の旭岳の予定であったが登山ルートの変更が進んでおり、直前に尾瀬西山スノーハイクに変更した。ここはスノーハイクのほかバックカントリーのスキーヤーも多く訪れるところで、今年の2月第一週のスノーハイク計画に入れていたが、天気が悪くて他に転進したので心残りになっていたところ。行程はあまり長くないのでのんびり千葉を出発したら結構な渋滞で焦ってしまったが、なんとか10:30に Gondola トップに到達できた。



ゴンドラトップ（背景は日光白根山）

ここからは西山に向かう尾根にすぐに乗るが、しばらくはゲレンデのアナウンスや音楽がややうるさい。ただ小ピークを越えて向きを変えるとそれもなくなり静かな世界になる。だれか先行者がいるのかトレースははっきりしており、やや拍子抜けだがありがたい。静かな森の中のコースの途中からは燧ヶ岳や谷川方面も望める。



尾根にはトレースもあり快適に登れる

ゴンドラトップ（背景は上州武尊山）



左は目的の西山、右手奥は燧ヶ岳



森のなかをトラバースぎみに西山を目指す



樹間からは谷川岳の東面も望める

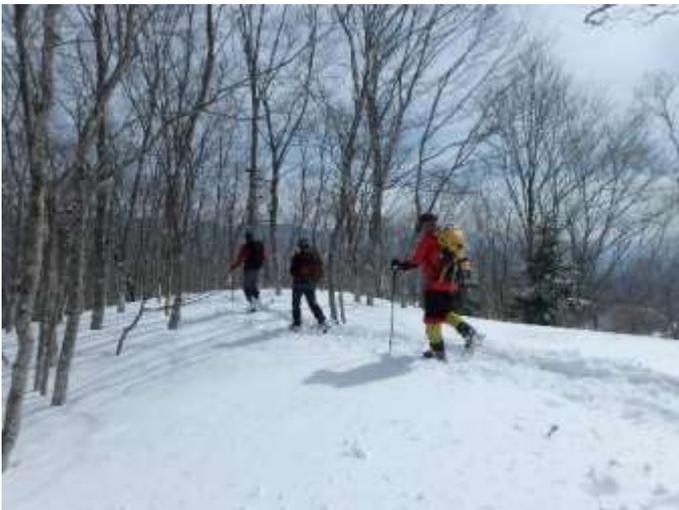
途中で滑降準備中の山スキーヤーに出会う。若いお兄さんが「山頂までトレースをつけておきましたよ」とのありがたいお言葉、この人がつけてくれていたのですね^^。スタートから1時間20分ほどで西山の山頂に到着。トレースのおかげで短時間で登れたが、それがなかったらきっと2時間くらいはかかってしまったかもしれない。



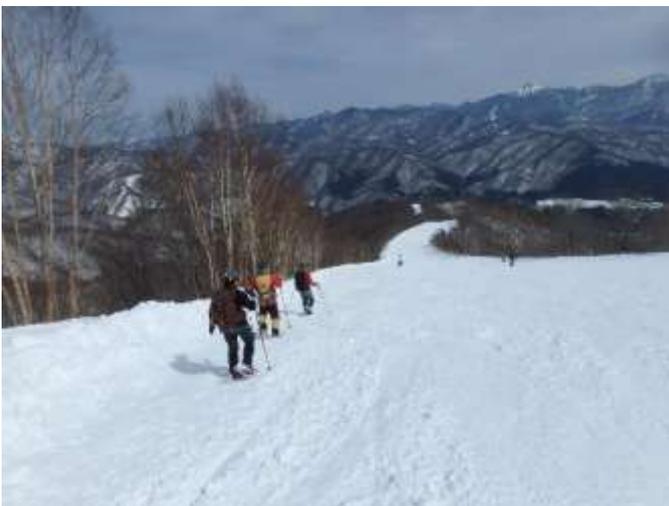
西山の小さな山頂標識



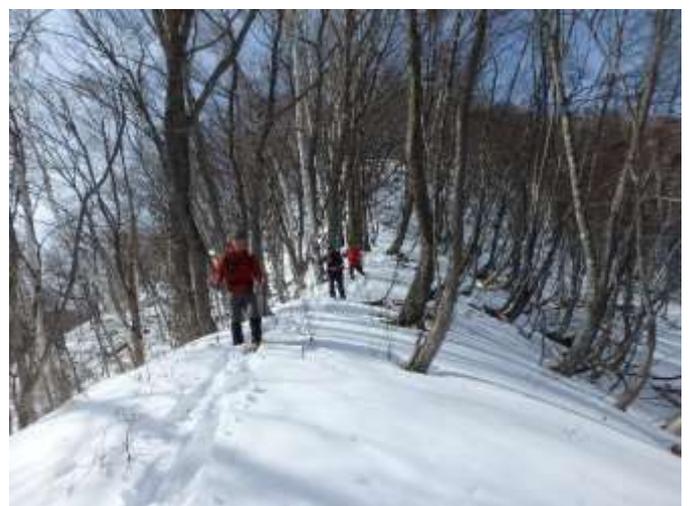
山頂での記念写真（樹間に燧ヶ岳）



帰りは往路をそのまま戻り、休みもとらず 40 分ほどでゴンドラトップに着いてしまった。ここからは東尾根をたどって駐車場に戻る予定。上部はスキー場のゲレンデになっているので、肩身の狭い思いをして端っこを歩く。尾根が大きく右（南）にカーブするあたりからゲレンデを外れて南尾根に踏み込む。この尾根が意外と難物で、急下降のあと眼下に駐車場や道路が見えてくるが、道路への下降は擁壁があって無理。なんとか回り込んで駐車場の少し下の道路に出たが、最後に核心部があった。



東尾根はゲレンデの縁を降りる



南尾根：このあたりは快適

尾瀬西山はスキー場から短時間で登れる割には行程はとてもよい雰囲気です。スノーハイクにはお勧め。トレース

がないところを登れたらもっと楽しかったかなと思うが、あったらあったでラクチンでそれもまた楽しい。下山の南尾根は計画通りに歩いたのだが、道路際の想定が甘かった。これまでも道路に下りるのに苦労したことが何回かあったが、あまり経験を活かせていなかった。結果論だが 1335 ピークからは南西に伸びる尾根を使ったほうがよさそうです。

記録 : 柘植 秀樹